

未来寺子屋



かわらばん

8月22日土曜日の午前中、本證寺本堂で、3シーズン目となる「まちづくりイノベーションスクール@安城 2020 未来寺子屋①」ようやく開催できました！この日の参加者は、市民や事務局スタッフも含めて20人でした。

昨年度のシーズン2最終回がコロナで中止となり、約半年ぶりの開催となったこの日、最初に今年度のねらいを確認。そのあと「夏のきょうえんいちのふりかえり」と、「昨年度の活動報告会」を行いました。そして最後に「今年度みんなで1つの活動するなら、どんなことをしたい？」を意見交換。たくさんの前向きな意見が飛び交いワクワクする楽しい会となりました！

未来寺子屋シーズン3 はじまりました！

1

節目となるシーズン3のネライは？

今年度のねらいは3つ！①未来寺子屋から出てきた芽に、**葉を茂らせ**ましょう！
②公園を、どのような組織・仕組みで**マネージメント**をしていくといいか（ソフト面）を皆さんと一緒に考えていきたい！③公園ができるまで活動を続けていく**継続力**！
この3つを今年の課題にしたいと思います。



安城市文化振興課
齋藤課長補佐

2

きょうえんいちふりかえり～門前市★魅力UP大作戦！

7月12日開催「夏のきょうえんいち」の様子をスライドで思い出した後、参加者に書いていただいた「ふりかえりシート」のまとめを紹介。そして、今後の門前市のあり方について、少人数で意見交換したあと、全員で共有しました。



当日のスライドを見てふりかえり



少人数で意見交換



出店者による
「ふりかえりシート」
を紹介

- 来場者が917人。門前市の存在が周知されてきている
- 今は職員主導。独立した事務局の設立など運営のあり方を見直す必要がある
- 季節ごとにテーマを変えたら
- 高校生や大学生とのコラボを美大生とのコラボもアリ？
- 運営費用の確保を検討
- 棒の手など伝統芸能を
- 出店者同士のコミュニケーションができるような声掛けを



話した内容を紹
介し合い全員で共有



- ゴミ箱は必要
- ナイト本證寺で盆踊りをできるといい
- 年4回でなく、1回に絞って全力を注ぐという方向性もあっていいのでは
- 安城の青年団の協力が得られたらいい
- 駐車場の確保は規模を拡大していくのなら、避けては通れない問題
- 継続が大事
- 座って食べられる場所があるといい
- 秋のきょうえんいちには菊が活かされるといい
- 出店者と運営者は別でないと兼務は難しい
- 季節ごとにテーマを変えるには、年間計画を立てるとか早めのテーマ提示が必要
- マラソンとか花育などの活動に参加してくれた人にマルシェの割引券を出したら繋がるかも
- 他所の人気マルシェの見学に行ったらどうか
- 少しずつトライアルグループを崩して、みんな協力して形にしていければいい

3

昨年度の活動報告会

昨年度の最終回が急遽中止で実施できなかった活動報告会。これまでの活動成果を各チームから紹介しました。

ミラテラ広報部チーム

インスタは現在フォロワー1,053人。地元の人を細かにフォローしながらフォロワーを増やし、発信していきたい。また駅などに案内看板をつくってPRしたいと思っています。



里山センチュリーチーム

花育として親子で綿の苗を育ててもらい秋にリースを作る企画をしました。コロナで大きく予定が変わりましたが、できる範囲で続けます。また田んぼにシロツメクサとレンゲの種を蒔いて花畑に。管理が大変でしたが、出られる人でやってきました。商品を作ってきたきょうえんいちにも出店。おテランに合わせてコスモスの種を蒔くなど、地道に活動を続けています。



moku_iko チーム

ハスをイメージしたオセロ「ハスロ」。水源交流のある長野県根羽村に有志で行って木を糸鋸で切り、磨き、ペンキで色塗り。冬の



F.E.S チーム

お化け屋敷は、3月にプレイベント、8月に本番の予定だったんですがコロナで中止になってしまいました。



4

「今年度、みんなで行ってみたい活動は？」

今年度、グループの活動は大事にしつつ、みんなで1つやってみようという思いを交換したあと、全員に話した内容を紹介し、共有しました。

◆形になるもの、残っていくものをつくる

- ・本證寺の案内看板をみんなでつくりたい
- ・門前市のタイトル看板をみんなでつくりたい

◆ここからやっていくという思いを込めたもの

- ・Tシャツやキーホルダーなどの記念品

◆継続・仲間を増やしていける仕組みづくり

- ・ボランティアチケットや地域通貨的な仕組みを
- ・お茶やお菓子、情報交換できる、優遇などのお得感

◆できることからみんなで。達成感、意欲向上

- ・チケットづくりなどできることから

◆ここにあるものを活用しよう！

- ・木の間伐をして看板を作ろう
- ・枝は生け花にも使える！

◆ハス

- ・ハスの花をなんとか元気にしたい

◆イベント

- ・子どもを巻き込んだイベント
- ・犬猫の里親探し など



5

おはなし

「コロナ禍？コロナ中？」

できることはたくさんある！」

今、コロナ「禍」とよく使われますが、私はすごく違和感があります。大規模な疫病はこれまで何度も蔓延していて、500年くらい前にも、飢饉と疫病が

本證寺
小山住職



流行って、8年間に日本の人口の3分の1くらいが亡くなったと言われています。この時、蓮如上人が手紙の中で「疫病が流行っても流行らなくても人間は必ず死にますから驚くことはありません」と言っています。すごい言葉だなと思いますが、そうであっても私達の営みは続いていて、今私達はここにいる訳です。

お釈迦様が仰るには、「この世の中は縁起で成り立っている」と。今このようにつらいと思っていることは、その一瞬のうちの1つの出来事でしかないんです。僕たちはそれにくっつけたくる、例えば、私達はこんなに我慢しているのに、コロナが収まってきたらまた若者がまちに繰り出して、とだんだん腹が立ってくる。今は単なるコロナ「中（なか）」で「禍（わざわい）」じゃない。私達が、禍（わざわい）にしていると思うんです。今、自粛して、全てが閉塞感につながるとは思いますが、実はやれることがたくさんある。今日たくさん出させていただいたアイデアも、みんなやれること。そういうものまで私達が止めてしまう必要は全くないんじゃないかと思っています。

未来寺子屋はいい名前ですね。未来に向かって私達は進んでいるんです。未来に進むためには今歩みを止める訳にはいかないと思うのです。未来寺子屋はそのためにあるんじゃないのかなと、ちょっと思いました。

未来寺子屋② 9/19（土）あさ9:30～12:00

「暫定利用×社会実験 みんなDEひとつプロジェクトの検討」

公園予定地を暫定的に活用しながら、本證寺とその周辺エリアの魅力や価値を高めるため、チームを超えて未来寺子屋の参加者みんなで取り組めるプロジェクトを考えよう！

安城市教育委員会

文化振興課（歴史博物館内）

☎ 0566-77-4477

✉ bunkazai@city.anjo.lg.jp